

浅田 二郎 議員

合併してよかったと思えるまちづくりはどうなった

Q 問 旧浅羽町の多くの方が、「負担は低く」の合併の約束が守られず、「合併して悪くなった」と感じられているが。

A 答 合併後に実施したサービスもあり、やむを得ず負担をお願いすることになったものもある。市政運営の推進には市民との対話が重要であると考えている。積極的に話し合いを進めていきたい。

Q 問 さらに負担増となる都市計画税を、新たに浅羽地域にも課税するつもりか。

A 答 都市計画事業を計画的に推進するために必要なことであり、旧袋井市では既に実施をしているので、公平性という観点からも理解をいただきたい。

全ての高齢者にインフルエンザ予防接種の助成を

Q 問 一部医療機関での高齢者インフルエンザ予防接種に助成がない状況が、いまだに続いている。なぜ改善されないのか。

A 答 予防接種事業は、磐周医師会と袋井市医師会と契約を結んでいる。この契約を結んでいる医療機関で接種を受ければ、助成の該当となる。今後もこの医療機関で受診するよう周知を図り、不公平が生じないように対応していきたい。



浅羽支所周辺

広岡 宥樹 議員

文化力向上をめざし、文化都市にふさわしい会館、資料館の建設を

Q 問 一流の舞台芸術、音楽等に接し得る会館と全市的な郷土資料館の建設はどうか。

A 答 月見の里学遊館とメロープラザで、十分にその機能を果たし得ると考えている。
また、郷土資料館については、財政的な裏づけが得られた時点で検討していきたい。

太陽光発電システム導入に新たな助成制度を

Q 問 家庭用太陽光発電設備に国を上回る市独自の助成制度をつくることはどうか。

A 答 太陽光発電を利用していくことは大変有意義なことであると考えてるので、助成制度拡充について、検討していきたい。

雇い止め、契約打ち切りで職・住ともに失う労働者への対策を

Q 問 職・住ともに失う市民救済の用意は。

A 答 緊急経済対策本部を設置して、関係の団体と連携をとりながら、一人一人の事情について適切なアドバイス、対応ができるよう努め、県や国へも必要な働きかけをしていきたい。



住宅に設置された太陽光発電